

令和3年度島田市商工会経営発達支援計画 事業実績報告

(令和4年3月31日時点報告)

I 経営発達支援事業の内容

1 地域の経済動向調査に関すること

支援内容	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
① 小規模企業景気動向調査実施回数	12	11	12	12	12	12
② 島田市景況調査実施回数	3	3	3	3	3	3
③ IT アンケート調査実施回数	1	1	1	1	1	1
① の公表回数	12	10	12	12	12	12
② の公表回数	3	2	3	3	3	3
③ の公表回数	1	1	1	1	1	1

小規模企業景気動向調査については、経営指導員の巡回・窓口相談の際のヒアリングで毎月実施し、県連合会へ報告している。県連合会では県下35商工会からの報告を集計して、毎月静岡新聞に公表掲載しています。

島田市景況調査については、地区内会員の小中規模事業者100社を選定し島田商工会議所と合同で年3回実施している。商工会議所経由で年3回公表しています。

今年度より新規でIT利活用調査を現状や取組について1回実施調査する。令和4年3月に全会員に実施し、ホームページに掲載した。

巡回ヒアリング時には、会員ニーズを引き出すことにより補助金・経営革新・IT化取組の提案等に繋げることができ成果に繋げることができた。

2 経営分析に関すること

支援内容	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
セミナー開催回数	5	8	5	7	5	7
経営分析件数	20	55	20	131	20	124

今年度はインボイス制度の導入を促すための説明会及びコロナ禍の販路開拓・DXへの対応等の早急な課題を優先的に行ったため、経営分析のセミナーは開催できませんでしたが、経営分析件数については実績の通り目標を大きく上回ることが出来ました。

また、経営者としての自覚・目指すべき方向性を見つけ出すきっかけになる内容も取り入れてみた。

開催日			内容	参加人数
年	月	日		
3	10	25	よくわかる「インボイス制度」説明会	33
3	11	16	女性部主催「母目線で考える事業承継」講習会	7
3	11	16	青年部主催「事業承継セミナー」講習会	6
3	11	29	工業部主催「未来を創り出す経営者の決断」講習会	30
4	1	26	明日から使える、ECモール基本セミナー	19
4	2	22	商業部主催「人を大切にする会社が地域をつくる」講習会	25
4	3	29	商業部主催「売上5倍利益率50倍の実例から学ぶ～これから始めるDX～」講習会	18

3 事業計画の策定支援に関すること

支援内容	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
事業計画策定件数	15	56	15	131	15	124

今回は経営分析を実施した事業者に対して、知識の吸収と意識啓蒙を図り、事業計画策定の重要性を周知する取組をした。

内容は、静岡県商工会連合会の広域支援拠点の専門家を積極的に活用し、また、島田市産業支援センター・よろず支援拠点と連携して伴奏型の支援、販路開拓の提案を行うことができた。

4 事業計画策定後の実施支援に関すること

支援内容	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
フォローアップ対象事業者数	15	48	15	83	15	64
頻度（延数）	30	96	30	166	30	128

フォローアップについては経営指導員の巡回訪問の際、進捗状況の確認を行い必要な助言指導等を積極的に行い、目標を大きく上回ることが出来た。

また、島田市産業支援センタ・よろず支援拠点と連携し、個別相談会を隔月に1回開催しさらに、中小企業診断士による個別相談会も同時開催しコロナ禍の中会員支援に取り組むことができました。

5 需要同行調査に関すること

支援内容	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
① 調査対象事業者数	3	2	3	2	3	0
② 調査対象事業者数	2	2調査無	2	0	2	0

① は、3年度の下半期の事業計画に基づいて、実施を考えていましたが、8月からのまん延防止措置、緊急事態宣言及び新年を迎えた1月からのまん延防止措置により実施を断念しました。

② は、信用金庫が主催するビジネス商談会は、県内の「しんきんビジネスマッチング静岡」は新型コロナウイルス感染症により中止になり、中部地区「しんきんフェア 2021」は開催されましたが、県外での開催と新型コロナウイルス感染症リスクで参加事業所はありませんでした。

6 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

① (BtoC)

イベント	開催時期	場所	ブース数計画	出展ブース実績
初倉まつり	10月	初倉	25	今年度開催無
金谷文化産業祭	11月	金谷	25	今年度開催無
茶ービスエリア	4月	川根	20	今年度開催無

② (BtoB)

支援内容	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
物産展・イベント参加事業者数 (BtoC)	80社	63社	開催無	2	開催無	開催無
参加事業者の売上高/社	50千円	37千円	開催無	35千円	開催無	開催無
展示会・商談会参加事業者数 (BtoB)	3社	1社	開催無	開催無	開催無	開催無
参加事業者の成約件数/社	1社	0	開催無	開催無	開催無	開催無

事業計画策定先や「島田の逸品」の選定を目指す事業者を中心に商工会が主催するイベント及び静岡県・地元信用金庫が主催する展示会等で商品のブラッシュアップ・販売ツール作成等の支援を行う計画でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、すべて開催中止になりました。

個別での販路開拓支援、マッチングは連携支援機関を通じて取組みましたが、具体的な成果には繋がらなかった。

II 地域経済の活性化に資する取組

(事業内容)

(1) 新型コロナウイルス感染症対策として国・県・市の各支援策をサポートするため、島田市、島田商工会議所と連携した支援窓口を設置し対応した。

(2) 島田市商工会主催の「初倉まつり」、「金谷文化産業祭」、「茶ービスエリア」は、新型コロナウイルス感染拡大から中止とした。

島田市商工会としては、会員事業所への経済支援策として 2 回の消費喚起策と、会員同士で自発的に取組む事業を支援する事業を実施した。

①おしまちゃんテイクアウトフライデー

②おしまちゃんリフォーム等補助金

③おしまちゃんチャレンジ補助金

(3) 令和 3 年度から、島田市内の高等学校・産業界・自治体等の人材育成に関わる関係者が「お互い顔の見える関係」を構築、維持し、高等学校のキャリア教育、探求学習場面での連携・協働活動を円滑かつ効果的に進めることにより、各校の教育目標達成と地域人材の確保、活躍に寄与することを目的とし、「島田人材育成プラットフォーム」を設置し地元企業への理解促進と人材の確保に取り組む

(構成員)

島田市・静岡大学・島田高校・島田工業高校・島田商業高校・金谷高校

島田樟誠高校・島田商工会議所・島田商工会・島田観光協会

以下参加し共有している。

3/29 第 1 回会議

5/25 第 2 回会議

12/16 第 3 回会議

Ⅲ

経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

- 1 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること
 - (1) 島田市産業支援協議会を毎月1回開催され参加している。内容等は回覧・口頭・社内メールで共有、会員へはLINE等で周知を図っている。
島田市産業支援センターのよろず支援拠点個別相談を島田市商工会金谷支所で隔月に1回開催した。
 - (2) 静岡県中部地区会の経営指導員による年2回の経営支援会議参加し情報交換された。
2回参加し情報交換・共有が図れた。
- 2 経営指導員等の資質向上等に関すること
 - (1) 経営支援員・記帳指導職員との同行訪問・窓口対応等OJTを実施した。今までにない職員間のコミュニケーション・指導体制は整いつつあります。
 - (2) 全職員で勉強会を月1回(4月～12月)9回の計画ですが、5回の実施となった。
内容は業務の共有と、給付金等コロナ対策支援策を中心に実施した。
今後は職員からの要望もあり、マーケティングの基礎知識も行っていきたい。
 - (3) 静岡県商工会連合会が開催する専門スタッフ研修には2回以上職員の派遣を実施する計画に対して、各職員2回以上実施した。
専門スタッフ研修7回、経営革新支援研修1回、記帳専門研修2回、経営支援員研修1回
 - (4) 会員情報の基幹システム・データベースを経営指導員以外にも活用できるよう研修を実施する計画でしたが統一した研修会は実施できませんでした。

3 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

令和4年4月14日（木）18：00より島田市商工会金谷支所2階において
「令和3年度 島田市商工会経営発達支援計画反省会」を開催

参加対象 ○ 検討委員会（島田市商工会総務委員会）
会長 岡村 修・副会長 森下 真琴・副会長 杉村 将人
商業部長 諸田 昌人・工業部長 渡邊 俊晴・観光部長 成岡 俊壮
青年部長 板倉 充芳・女性部長 長谷川 友子
未来創造委員長 戸塚 康之

○ 島田市担当職員
島田市産業経済商工課 課長 駒形進也 様
島田市産業経済部商工課 課長補佐 林 良輔 様

○ 有識者
北川 裕章（中小企業診断士）

事業報告・内部評価・外部評価を実施

令和3年度 島田市商工会経営発達支援計画 評価票

<抜粋>

3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

毎年度、本計画に記載の事業の実施状況及び成果について、以下の方法により評価・検証を行う。

①検討委員会（総務委員会）を設け、市担当課職員、税理士等の有識者を加え、事の実施状況、成果の評価・見直し案の提示を行う。

②理事会において、評価・見直しの方針を決定する。

③事業の成果・評価・見直しの結果については、総代会へ報告し、承認を受ける。

④ 事業の成果・評価・見直しの結果を島田市商工会のホームページ（<http://www.shimada-sci.jp/>）で計画期間中公表する。

令和3年度 島田市商工会経営発達支援計画 事業実績報告から下記の項目について5段階評価を行って下さい。3を普通という基準にして5が最高評価となります

I 経営発達支援事業の内容 (下記1～6に個別評価をして下さい)	
1 地域の経済動向調査に関すること	3.8
2 経営状況の分析に関すること	4.1
3 事業計画の策定支援に関すること	4.6
4 事業計画策定後の実施支援に関すること	4.5
5 需要動向調査に関すること	3.6
6 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	4.0
II 地域経済の活性化に資する取組	4.2
III 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組	4.2

本計画について見直しすべき点がありましたらご記入下さい。

・コロナ禍にあって業務多忙な中概ね目標を上回っており、大きな努力の結果であると高く評価できます。特に、3.事業計画の策定支援に関することでは目標を大きく上回っており、様々なセミナーを開催して参加者を募り計画策定に繋げています。セミナーのテーマも事業承継や DX 関連など商工会の重点取組項目が選定されている点や参加者が多い点も

評価できます。それ以外では、5.需要動向調査に関する事、及び6.新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事についてはコロナ禍で開催が見送られることが多く、やむを得ない結果だと思われまふ。その対策としてⅡ地域経済の活性化に資する取組において、新たに2回の消費喚起策や1回の事業支援が実施されたことも高く評価できます。

また、職員の中で中小企業診断士の資格取得者が出られたとのこと、今後その知識の共有や支援ノウハウの活用が期待されます。例えば、1. 地域の経済動向調査に関する事では、調査結果の定量的な発信に留まらない当地域の動向分析が加えられることです。また、2. 経営状況の分析に関する事やⅢ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組における質的な向上等が期待されます。

・調査分析することは、大変な事で現状で出来ることはやってくれているのですが、調査分析はとても大事になっている部分なので、そこをもっと発信してもらい、アナログからの脱却の大切さを周知してもらいたい。

記入者氏名

ご協力ありがとうございました。